

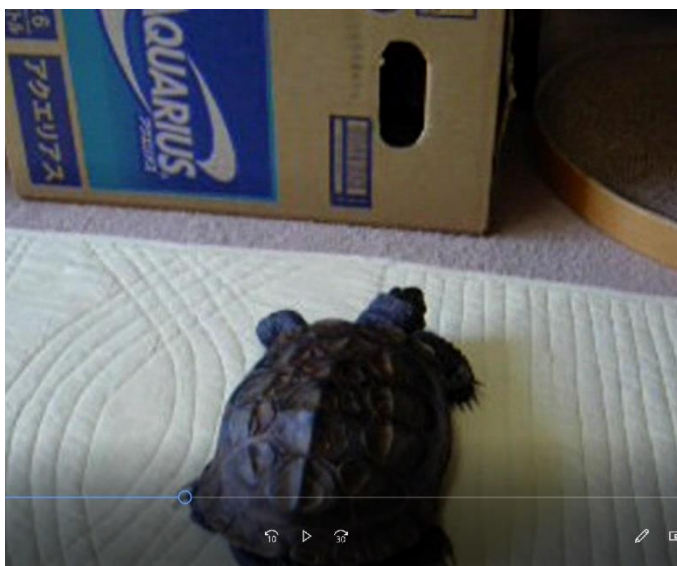
■主催: 千葉県高等学校教育研究会学校図書館部会 ■会場: 千葉県立千葉女子高等学校(千葉県千葉市)
■10:10~15:30(講演110分+ワークショップ2.5時間:計4時間20分、昼食休憩1時間)

【講演とワークショップ】

学校図書館の超実践PR講座

～発想を変えて存在感をアピールする～

講師:仁上幸治(図書館サービス計画研究所代表)



概要

高校生にとって、図書館はたくさんの本との出会いの場であり、様々な学びの場である。そんな図書館は今、本が置かれた場所として機能するだけでなく、多くの悩みを抱える青少年の居場所となることが求められている。高校生のための図書館づくりについて考えてみる。

他方、そうした企画を立案し実行する側の図書館員自身の置かれている状況はいよいよ厳しさを増している。情報ニーズが多様化し、情報サービス提供者もユーザーに選ばれる時代になった。図書館界では、旧来の「待ちの姿勢」が招き寄せた衰退傾向は、恒例行事の多少の工夫程度では押しとどめることができなくなっている。奇跡のV字回復を図るには、広く地域社会の中で図書館と図書館員の存在感を高めていくしかない。そのためには、顕在的潜在的利用者だけでなく、親組織の首長・管理者・スタッフを含めて、地域の

全構成員との友好・協力・共闘の関係をどう構築していくかという戦略的視点が必要不可欠である。この関係再構築の理論としてPR(パブリックリレーションズ)を取り上げる。

高校生対象サービスを改善するには、先頭ラインを引き上げながら、後続末尾のラインを押し上げることが必要である。図書館現場の実態について、本講演のための事前課題アンケートから問題点と課題を浮き彫りにしながら、ネックを打開する展望を見出したい。

本研修では、ワークショップの中で、県立高校図書館全体のブランディングを成功させるために、本日の参加者全員が主体として活動する取り組みのアイデアを出し、取り組みを開始し、発展させるために必要な県立高校図書館員の間的情報共有・意見交換・お悩み相談・つながり支援の仕組み・仕掛け・ツール等を誰がいつまでにどう用意するかを詰めて具体的な作業工程表にまとめるところまで挑戦してみる。

目次

はじめに

第1部 イメージ革新の実例

別紙: ●参考資料(高校図書室での実践と司書教諭課程授業)

第2部 学校図書館研修講師の経験から

第3部 問題提起

第4部 発想の転換

第5部 先進事例

第6部 ワークショップ: 県立高校図書館全体のブランディングを成功させる地域ぐるみの取り組みのアイデアをまとめる

発表と討論

まとめ

●付録

- 1. ブランディング関連参考文献
- 2. ブランディング関連参考サイト
- 3. 学校図書館関連参考資料・参考サイト
- 4. 講師紹介

*参加者アンケート

□■□

はじめに

●自己紹介

仁上幸治 (にかみ・こうじ)
図書館サービス計画研究所(トサケン)代表
元・帝京大学 総合教育センター 准教授
元・早稲田大学図書館司書
非常勤講師(法政大学、亜細亜大学、東京家政大学、桜美林大学、和光大学、玉川大学、八洲学園大学課外講座、2018年度から専修大学、日本女子大学)
クサガメを室内放し飼ひ+子猫=共存[^];

◎社会貢献活動

立川市施設指定管理者候補者選定審査会図書館専門委員(2012-14)
世田谷区梅丘図書館新館構想策定委員会委員(2015-16)
世田谷区新中央図書館新館構想策定委員会委員(2016-)

お願い

一回性のライブ
スライド内容は後日ファイル配付
ノート不要
感想・質問用のメモ OK
プロジェクター、照明、マイクボリューム、エアコンなど受講環境についての要望は随時

千葉県での講演

1)2008.02.06-[講演]千葉県立中央図書館
レファレンス研修会(レファレンスサービス専門研修)(平成 19年度)「パスファインダー超簡単講座-新しい案内ツールをどう作るか-」千葉県総合教育センター
[案内報告][報告記事](PDF 368KB)
2)2014.10.10-千葉県立西部図書館 課題解決支援サービス研修会「図書館ブランディング入門」千葉県立西部図書館
・2015.02.09-『図書館員のための PR 実践講座』出版記念会 3 in 千葉「ニカミズム ARISE-愛と怒りの極私的自著伝-」

(近くて遠い?! 山武ツアー:第二日)さんぶの森図書館(千葉県山武市)
3)2016.01.13-千葉県公共図書館協会第2ブロック研修会「図書館のPR実践講座-ホームページを改善する-」浦安市立中央図書館(千葉県浦安市)
4)2016.11.30(水)-文部科学省図書館地区別研修(関東・甲信越静地区)「図書館ブランディング入門-内外に味方を増やすコミュニケーション戦略-」千葉市生涯学習センター(千葉県千葉市)

本日 5 回目

2018.11.27(火)-千葉県高等学校教育研究会学校図書館部会 学校司書ならびに学校図書館関係職員秋の研修会「学校図書館のPR実践講座~あらゆる機会をフル活用する」千葉県立千葉女子高等学校

講演生涯合計 300 回到達(9/30)

本日 315 回目

自分ブランディング

味方づくりは自分ブランディングから

同僚に好かれる
上司に頼られる
館長に自慢される
親組織に重宝される
利用者に仲間と認められる

図書館員のイメージ

映画・ドラマの中の図書館員イメージを検証しながら、ステレオタイプのマイナスイメージをどう超えるか、その戦略を考え直す

第1部 イメージ革新の実例

別紙 参考資料:高校図書室での実践と司教諭課程授業

1. 早稲田大学付属高校の事例

1. オリエンテーション
2. 利用案内
3. リクエスト

4. 投書箱
5. しおり

2. 「学校経営と図書館」授業の計画一覧表 (帝京大学 司書教諭課程 2013 年度春学期)

第2部 学校図書館研修講師の経験から

1. 過去の学校図書館研修の成果と課題

(1)神奈川県

1)1994.10.28 金 講演 県立学校学校司書等研修講座
選書基準をめぐる冒険-柔軟化戦略への反動的言説にどう対応するか-神奈川県県政総合センター 180 名

2)1995.10.18 水 講演
神奈川県立学校司書等研修講座 第一分科会
選書基準をめぐる冒険 その後-柔軟化の壁を超えるには
どんな取り組みが有効か-神奈川県政総合センター 30
名

3)2009.01.17-神奈川県高教組川崎支部教育研究集会「明
るいメディアリテラシーの育て方-授業の素材と演出の 5 つ
のポイント-」向の岡工業高校(神奈川県川崎市)

4)2014.07.30-神奈川県教育委員会学校図書館ブランディ
ング論研修講座「学校司書のためのブランディング入門~イ
メージ革新のための劇的ビフォーアフター」
神奈川県立神奈川総合高等学校 多目的ホール(神奈川県
横浜浜市)

5) 2015.07.29-神奈川県学校図書館経営論研修講座「学校
司書のためのブランディング講座(発展・実践編)~専門職
サバイバルのための地域連携作戦の立案と実行~」神奈川
県立神奈川総合産業高等学校 視聴覚室(神奈川県相模
原市)

(2)その他の学校図書館関係研修講演

・あくせすの会主催図書館表現講座(第一回学校図書館ワ
ークショップ)講演「コミュニケーション支援装置の設計図-
図書館を情報リテラシー教育の場へどう変えるか-」
2000.6.10 桐朋中高等学校図書館

・埼玉高校図書館研究会司書部会研究集会:講演「情報メ
ディアの活用をどう支援するか-学校図書館司書による指
導サービスのポイント-」2004.11.24、さいたま文学館(桶川
市)

・はんこの学校図書館まつり特別講義「図書館で情報の世
界への窓を開ける-ポスターからパスファインダーまで-」
2005.10.10、駿河台大学

2008.8.19. 三重県司書・司書教諭研修講座「魅せる教育
力養成講座-情報専門職に必須のプレゼン技を磨く-」三
重県立美術館/三重県総合教育センター(パソコン実習6時
間)

・2008.09.20-学校図書館問題研究会・岡山支部例会「作る
ことで学べるメディアの便利さと楽しさ-目からウロコの「超」
実践的演習授業-」岡山市勤労福祉センター

・2009.03.13-鳥取県学校図書館司書研修「図書館員のため
のプレゼン実習-情報専門職の提案力・指導力を磨く-」
鳥取県教育センター(鳥取市)

・2012.02.27-帝京大学総合教育センター「公共図書館及び
学校図書館スタッフ向けスキルアップ・セミナー」第 1 回・図
書館広報講座「図書館ブランディング「超」入門 ~何を誰
にどうアピールするか~」(講義とワークショップ) 帝京大学メ
ディアライブラリーセンター情報学習室(八王子市)

・2013.08.06-和歌山県学校図書館研究会学校司書部会研
究会「もし学校図書館のマネージャーがケラーの『戦略的
ブランド・マネジメント』を読んだら~イメージ革新のための劇
的ビフォーアフター~」県民交流プラザ和歌山ビッグ愛(和
歌山県和歌山市)(和歌山市)(講演記録:『しみっこ』41,
2014.3, pp20-25.

・2013.12.28-教員免許状更新講習「学校図書館の活用」
【講義と演習】「メディア活用についてのメディア活用による
授業をデザインする-楽しさと便利さをキーワードにした学
校図書館活用教育の改善-」帝京大学(東京都八王子市)

・2014.03.29-情報リテラシー教育フォーラム第 3 回研究会
「教える側の情報リテラシーを問いなおす-学校図書館と司
書教諭養成の今-」話題提供「教職志望学生の基礎教養
はこれでいいか-教える側の情報リテラシーの現状と課題
-」図書館サービス計画研究所 会議室(西新宿)

・2015.08.24-福岡県立図書館青少年読書推進講座「子ども
たちの居場所になる図書館をつくる~どう図書館を PR して
いくか~」福岡県立図書館(福岡県福岡市)【報告】

・2015.10.03-長野県図書館協会大学専門図書館部会図書
館研究会 研究会「ビジュアルデザインの質を上げる」講演
「図書館員のための PR 実践講座-情報は見た目が9割-」
県立長野図書館 会議室(長野県長野市)

・2018.10.12(金)-長野県立高校学校司書研修会「高校司書
のためのPR実践講座(2)~自分ブランディングに向けたPR
プレゼン演出の改善~」長野県県庁講堂(長野県長野市)

第3部 問題提起

1. 逆風状況

専任・専門・正規への要求
県庁から見た学校司書
図書館員の専門性の崩壊
直営維持の理由
外部委託・指定管理への包囲網

市民による評価
「サービス向上で利用者として満足」
「人件費削減できて納税者として良かった」
「今までなぜできなかったのか？」

敵だらけ？

図書館は直営の価値を訴求できるか

味方はどこに？

探す？
作る！
あなたが変われば

味方づくりは自分ブランディングから
同僚に好かれる
上司に頼られる
館長に自慢される
親組織に重宝される
利用者に仲間と認められる

2. 問題提起

図書館と図書館員が本当にギリギリまで利用教育や広報を
展開しきっているか

1)基本的な文献が読まれていない。理念、目標、方法の基
本はすでに誰でも入手できる文献に書いてあるにもかかわらず、知らない、探さない、読まないとなれば、不勉強という

マイナス評価を受けてもしかたがない。
2)メディアリテラシー教育の理解が不足している。「批判的読解」の否定的姿勢だけを強調しすぎないよう、「どうしたらメディアの便利さと面白さを楽しく学んでもらえるのか」という観点が重要である。
3)プレゼンテーション能力に自信がない。人前で、きちんと説明・説得・指導ができる人材であることを自らアピールする必要がある。
4)ネックを超えようという積極的な取り組み姿勢が弱い。「その前にしなければならぬことがある」「条件が整ってから始める」などという判断は、今すぐできることさえも先送りしがちな消極性の言い訳のように受け取られてしまう。
5)司書職という専門職の存在感を学校組織内外で示そうという意欲が弱い。

アピールするポイント

- 1)司書職の専門性の研鑽と対外的訴求
- 2)図書館と図書館員のイメージ革新
- 3)学校図書館のブランディング

ブランディングの方法

- 1)選書基準の柔軟化
- 2)投書箱
- 3)リクエスト回答システム
- 4)広報紙のデザイン刷新
- 5)書誌データ指導

自分ブランディング

- 1)司書職という専門職である自分個人を前面に押し出す
- 2)個人の評価向上による社会的認知獲得
- 3)積極性が鍵

3. 今回の研修の目的

今日のテーマ

高校司書のためのPR実践講座
-魅力訴求作戦の全面展開に向けて-

●高校図書館で今すぐできること

ツール不在のネック

一代完結
ゼロからやりなおし

新任者 どうしたいかわからない
ベテラン マンネリ化

いつでも相談
誰でもお助け
自由で気軽な雰囲気
情報交換・情報共有・活動アーカイブ

県立高校図書館員間の情報共有・意見交換・お悩み相談・つながり支援の仕組み・仕掛け・ツールを用意する

自宅インターネット環境の構築
私用メールアドレスの取得

無料サービスの活用
メーリングリストの設置
出欠登録ウェブシステム
ファイル共有システム
ホームページ作成・管理システム
Twitter
Facebook

メーリングリストの作成
名称 担当者(複数) 運用ルール
メンバー集め
メーリングリストへの登録
告知連絡
飲み会
勉強会
イベント
研修情報 など

楽しさ重視
自発性積極性
お徳感
輪を広げる
中身を深める

(2)上記の取り組みを開始し、発展させるために必要な県立高校図書館員間の情報共有・意見交換・お悩み相談・つながり支援の仕組み・仕掛け・ツール等を誰がいつまでにどう用意するかを詰めて具体的な作業工程表にまとめる。

第4部 発想の転換

1) 固定観念を捨てる

発想の転換
外の世界に目を開く
異業種の人材から発想や仕事術を学ぶ
弱点を逆手に取る
自虐ネタ
スベリ芸

事例

●誰も借りてくれない本 100冊 ICU 図書館で紹介:朝日新聞デジタル

www.asahi.com/articles/ASG6K5T12G6KUTIL030.html

ヒント

弱点を自虐ネタに
スベリ芸も芸のうち

2)ダメモト

どうせ無理と言わない
とりあえず交渉してみる

事例

葉
=ブックマーク(bookmark)

日本図書館協会

1998、1999
木原庸佐(きはら・ようすけ)
ユニーちゃん
フジテレビ「ポンキッキーズ」

参考6)葉の裏面見本: 早稲田大学高等学院図書室「返却期限日葉」1989-91?

栞(ブックマーク)
小さなメディアの意外に大きな効果
-広報・利用促進・利用者教育のためのワンポイント情報提供-

◎留意点

表のイラストで目させ裏を読ませる
内容はシンプルに
デザインは利用者本位に
使い方を工夫する
配布方法を工夫する
メディアミックスの考え方を忘れず

事例

●鎌倉幸子(シャンティ国際ボランティア会)
・MULU(みちのくライブラリアン連合)での出会い
2012.01.28-MULU 茶話会
・日産自動車で「車ください！」
・新宿区北図書館での偶然の再会
2013-07-14 図書館×広報×マーケティング
<http://ameblo.jp/1192-sachiko/entry-11572195358.html>
2013.8.8 ランチ@トルコ料理 ヒサル(新宿区百人町)
・鎌倉幸子『走れ！移動図書館』筑摩書房, 2014.1.
<http://www.chikumashobo.co.jp/product/9784480689108/>
・『走れ！移動図書館』発売日イベント～紀伊國屋書店を封鎖せよ』2014年1月7日(火)16:30～21:30
喫茶室ルノアール ニュー新宿3丁目店
<https://www.facebook.com/events/555305001227421/>

ヒント

ダメモトでトライ
意外な味方
思わぬ援軍
期待以上の大躍進

教訓

提案前に諦めたら何も起きない
どうせ思考がネック
停滞に安住は怠慢

3)何でもあり

話題を作る
日常をイベント化する

●図書館を愛してやまない人の飲み会

第3回「ここが変だよ図書館用語」(ソフトドリンクあり)
2013.09.27@シャンティ国際ボランティア会

●図書館愛人協会(略称)

図書館を愛してやまない人協会
図書館を愛してやまない関根夕希子さんが伊勢に行く瞬間
を見送る会
2014年7月1日19:00-21:50
タイ国屋台食堂 ソイナナ(西新宿)

教訓

シリ貧状況では何でもアリ!

4)「あるもの」活用

「ないからできない」という言訳

海士町中央図書館

<http://lib.town.ama.shimane.jp/>
ないものはない!!

あるモノ使い

ヒト・モノ・カネ・トキの不足
できない言い訳
あるモノの徹底活用
とことん創意工夫
ヨコの連帯

もしも、予算が取れず、能力が不足だったら・・・

里山資本主義

・『里山資本主義』藻谷 浩介/NHK広島取材班 角川書店, 2013.7.
<http://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784041105122>
里山のチカラ - NHK オンライン
<http://www.nhk.or.jp/economy/channel/jp/satoyama/interview/motani01.html>

ヒント

あるモノの徹底活用
忘れ物文具
プリント裏面
スタッフ(隠れた才能)
協力者(ボランティア)

教訓

ヒト・モノ・カネ・トキは必ず不足
不足状況での打開アイデアの勝負

5)街へ出る

市民講座の講師を務める
図書館活用法、データベース活用法など
事例
・梅澤貴典(中央大学学事部学事課副課長)
「誰でもできる! 知的生産のための図書館&公的データベース活用法」2014.7.26 墨田区 ひきふね図書館
<http://www.ustream.tv/channel/sumitoshopartners>
<http://hikifunetoshokanpartners.jimdo.com/講座ライブ中継/>

成果のリサイクル

市民からの評価が向上
評価の声を大学内へ逆輸入
大学図書館員の学内的評価を向上

6)「できない」と言わない

変化を嫌う図書館界の悪しき伝統
マイナス面だけをあげつらう消極的の心性
事例
●新宿区立中央図書館
廃校になった中学校校舎へ移転
新館建設計画はビミョー?
Never Say Can't!
新宿区中央図書館の玄関にある標語)
<https://www.facebook.com/koji.nikami.10/posts/522106897894406>
旧中学校の玄関のまま

第5部 先進事例

(1)入口意外な特色を印象づける

・温泉暖簾

草津町立温泉図書館

<https://www.kusatsu-onsen.ne.jp/cgi-bin/public/spot.cgi?id=33&t=2&c=0>
トップページ > 観光する > 観る/資料館・美術館 > 町立図書館

野原 海明 2016年1月7日 15:16

<https://www.facebook.com/photo.php?fbid=1067644199953754&set=a.224554587596057.75720.100001245512164&type=3&theater>

(2)飲食禁止を超える

・ラーメン屋のある図書館

館内、しかもゲート内にラーメン屋のある図書館で、珍しいのじゃないかな。

スガキヤ鶴舞中央図書館店

https://www.facebook.com/photo.php?fbid=513132445504263&set=a.105407132943465.14309.100004225352079&type=1&hc_location=ufi

鶴舞中央図書館

https://www.library.city.nagoya.jp/guide/m_tsuruma.html

愛知県図書館

<https://websv.aichi-pref-library.jp/inshoku.html>

5階にはレストラン・自動販売機コーナー・飲食コーナーがあります。ぜひご利用ください。

スガキヤ

・ビールも OK!?

清須市立図書館(愛知県)「ビールの楽しみ方講座」

<http://current.ndl.go.jp/node/31902>

・地酒講座

宇都宮市立図書館、講座「オンリーワンの地酒を目指して」

<http://current.ndl.go.jp/node/28810>

(3)移動図書館がなければ自転車配送

宇和島市立図書館自転車課

(俗称:お届け図書館)

「海すずめ」予告編

<http://umisuzume.com/>

(4)立地は一等地を狙う

・イオンモールと組む

青森県つがる市立図書館

カフェ併設の市立図書館、青森県つがる市のイオンモールにオープンへ

The Huffington Post 2016年06月23日

http://www.huffingtonpost.jp/2016/06/23/tsugaru-aeon_n_10627038.html

・六日町駅前徒歩10mの1階、スーパーの隣!

南魚沼市図書館

<http://www.city.minamiuonuma.niigata.jp/soshiki/kyouikuinakai/shakaikyouikuka/toshokan/>

<https://www.facebook.com/minamiuonuma.lib/>

リノベ物件

地元出身デザイナー

(5)空き地に神出鬼没

モバイル図書館 ソウル大公園

<http://yadokari.net/minimal-life/41173/>

ARCHIWORKSHOP

<http://inhabitat.com/tag/archiworkshop/>

(6)ネーミングライツを売る

・秋田市立図書館「ほくとライブラリー」

<「ほくとライブラリー」は、平成27年4月1日からの市立図書館5館の愛称です。>

●秋田市立図書館ネーミングライツパートナーを募集

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/mt/03-koukoku-naming%20rights.htm>

●秋田市立図書館ホームページ

<https://www.lib.city.akita.akita.jp/>

●募集要項

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/mt/namingrights%20bosyuyoku.pdf>

北都銀行

<https://www.hokutobank.co.jp/>

地域貢献活動

<https://www.hokutobank.co.jp/news/201404/main.html>

地域密着型金融の推進について

<https://www.hokutobank.co.jp/news/pdf/chiiki20111014.pdf>

(7)ホテルは図書館を活用

熱海の星野リゾート最上階に“ブックス&カフェ”が登場

04.20 07:06Fashionsnap.com

http://news.line.me/issue/odekake/3c357bf7c810?utm_source=Facebook&utm_medium=share&utm_content=app&utm_campaign=none

リゾート熱海 | 星野リゾート【公式】

www.hoshinoresort.com/resortshandhotels/risonare/atami.html

(8)デパートは書店をオシャレに

・百貨店事業にあえて挑戦、TSUTAYA 流「ガンガン売れる」店づくり

増田宗昭 弘兼憲史 PRESIDENT Online 2016年06月02日

<http://blogos.com/article/177900/>

・STORY STORY 新宿店 カフェ×雑貨×本屋さん有隣堂

<http://www.yurindo.co.jp/storystory/>

(9)書店はコミュニティセンターに

京都岡崎 蔦屋書店

<http://top.tsite.jp/lifestyle/lifetrend/i/27199872/>

京都岡崎 蔦屋書店オープン

写真:島津 利雄さん

京都のみなさんお待ちせ! ついに「蔦屋書店」が京都にOPENします

pranaria_kawaii 2016年1月6日

<https://retrip.jp/articles/22081/>

<https://retrip.jp/items/11365631/>

・コミュニティサイクルのステーションに

京都市「ミナポート」

<http://www.minaport.jp/>

幕張新都心コミュニティサイクル マックル | 千葉市観光ガイド

<http://www.chibacity-ta.or.jp/about-macle>

岡山市コミュニティサイクル ももちやり

<http://momochari.jp/>

金沢レンタサイクル「まちのり」

<http://www.machi-nori.jp/>

(10)マニアも図書館好き

秋葉原の「私設図書館カフェ」 シャッツキステ

●「好き!」を究める楽しさを メイドたちの私設図書館

文 吉川明子 写真 石野明子

朝日新聞デジタル 2016年6月9日

http://www.asahi.com/and_w/interest/SDI2016060786381.html

(11)学校の日曜日を活用

長野西高「司書ボランティア」募集 日曜日に図書館開館を
信濃毎日新聞 2016年6月3日金曜日
<http://www.shinmai.co.jp/news/nagano/20160602/KT160526FTI090005000.php>

(12)学校図書館をカフェに

「びっくりカフェ」
神奈川県立田奈高等学校
<http://www.tana-h.pen-kanagawa.ed.jp/>
神奈川県立田奈高等学校 HP「びっくりカフェ」
<http://www.tana-h.pen-kanagawa.ed.jp/career/cafe.html>
特定非営利活動法人パノラマFB
<https://www.facebook.com/npo.panorama2015/>
「カフェ」に「POP」 変わる学校図書館
日テレ NEWS24 2016年9月2日 17:59
<http://www.news24.jp/articles/2016/09/02/07339827.html>

(13)官能小説朗読会

飛騨市図書館 + 《CiNii Articles》
<http://hida-lib.jp/index.asp>
飛騨市図書館で官能小説朗読ライブ 市内外から70人、市
長も駆け付け
飛騨経済新聞 2016年08月27日
<http://hida.keizai.biz/headline/802/>
飛騨市図書館 館長、司書ら自身による『官能小説朗読ライ
ブ』遂に開催! 気になる当日の様子は…
まとめました。2016年8月27日
<http://togetter.com/li/1017148>
ユニークな企画、大好評 飛騨市図書館がアツい!
中日新聞 2016年10月25日
<http://www.chunichi.co.jp/article/gifu/20161025/CK2016102502000025.html>
中京テレビ オードリーさん、ぜひ会って欲しい人がいるん

です!

<http://www.ctv.co.jp/audrey/?rf=fb>
中京テレビ CHUUN 【2016年11月5日放送】
<https://chuun.ctv.co.jp/player/604>

4.1ch オードリーさん、ぜひ会って欲しい人がいるんです!
官能小説朗読会 2016年11月5日(土)放送分
112 20 5min 2017/11/05 00:00 まで
【クチコミ】先日、飛騨市図書館の司書で官能小説の朗読会を行っ
たんですが、どうしても上手く出来ない事がありました。オードリーさ
ん、助けてください。投稿者:(堀夏美・26歳)

話題拡散の三段跳びに拍手!

図書館の大胆なイメージ革新

これが図書館なの?!
これは図書館ではない!

先進事例まとめ

- (1)入口意外な特色を印象づける
- (2)飲食禁止を超える
- (3)移動図書館がなければ自転車配送
- (4)立地は一等地を狙う
- (5)空き地に神出鬼没
- (6)ネーミングライツを売る
- (7)ホテルは図書館を活用
- (8)デパートは書店をオシャレに
- (9)書店はコミュニティセンターに
- (10)マニアも図書館好き
- (11)学校の日曜日を活用
- (12)学校図書館をカフェに
- (13)官能小説朗読会

第6部 ワークショップ:

今日のテーマ

- 1)県立高校図書館全体のブランディングを成功させるために、本日の参加者全員が主体として活動する取り組みのアイデアを出す。
- 2)上記の取り組みを開始し、発展させるために必要な県立高校図書館員間の情報共有・意見交換・お悩み相談・つながり支援の仕組み・仕掛け・ツール等を誰がいつまでにどう用意するかを詰めて具体的な作業工程表にまとめる。

【1】アイデアの狙い

「できたらいいな」の夢優先(実現可能性はあとで考える)
実現の条件を整理する(環境・状況・主体)
実現を阻むネックを整理する
ネックを超える条件を整理する(「できない」理由を後ろ向きに考えるのではなく、「できる」に変えるための方向性、取り組み内容を前向きに考え出す)

【2】アイデア出しの3条件

図書館員の専門性の認知度を格段に向上させる
図書館非来館層に届くメッセージ性
県庁職員・知事部局を動かす説得力
県立高校図書館員が動き出せる仕組み

【3】提案内容項目(例)

- ・グループ名
- ・グループメンバー
- ・プロジェクト名
- ・目的
- ・数値目標
- ・取り組み内容
- ・取り組み体制・予算など
- ・期待される効果
- ・作業工程表
- ・要検討事項 など

【4】作業要領

(1)グループ基本構成

- ①84名: 14グループ×6名
- ②各グループに進行役1名、記録役1名
- ③グループ分けと席指定、進行、記録係を事前に運営側で設定(日ごろ対話の少ない同士で組み合わせ)
- ④各グループのテーブルに、A4判白紙とカラーサインペンとマーカーを配置しておく

(2)ワークショップスケジュール

- 10:00-10:10 挨拶
10:10-12:00 講演(質疑+ワークショップ要領説明)

- 12:00-13:00 (昼食休憩)グループ席着席
 13:00-13:20 名刺交換・自己紹介
 *1人1分30秒×6名(10分)+質疑応答10分
 13:20-14:20 グループワーク(60分)*タイマー各班で
 (ブレインストーミング、スライド作成、提出)
 →スライド整理、PCにコピー、発表スタンバイ
 14:20-14:30 休憩(10分)
 14:30-15:15 成果発表(1グループ3分:準備1分+プレゼン1分+質疑1分)×14G=42分
 15:15-15:20 講評・まとめ・質疑(5分)
 15:20-15:30 事務連絡・アンケート記入(10分)

(3)プレゼン要領

- ①A4判白紙に手書き
- ②できた用紙を写メールで撮影
- ③事務局アドレスへ添付送信
- ④事務局でUSBメモリに保存、投影用PCにコピー、アップ画像をスクリーンに投影
- ⑤全員登壇、全員発言

(4)発表と討論のまとめ

1. 学校司書の役割
2. 専門性の奇蹟のV字回復への戦略
3. 図書館と図書館員のイメージを変える
4. ネットを超える—具体的・現実的・実行可能な案を作る

まとめ

結論

1. できない理由を並べてしまう悪しき習性を捨てる

2. 機会ごとに演出改善に挑戦し失敗を教訓に変える
3. 日常生活の中で演出を意識する
4. 他人の目にどう見えるかを意識する
5. めげない!

図書館員の存在感をコミュニティに認知させるには

発想の転換
 斬新なアイデア
 大胆な提案
 常日頃から
 より意識的に
 より積極的に

今日のテーマ

学校図書館の超実践PR講座
 ~発想を変えて存在感をアピールする~

*おみやげ(ALAしおり)

<http://www.alastore.ala.org/>
<http://www.alastore.ala.org/alagraphics/>
http://www.alastore.ala.org/pdf/ALA_Graphics_Catalog.pdf

*ご案内

1)仁上新刊のご案内

・仁上幸治『図書館員のためのPR実践講座—味方づくり戦略入門—』樹村房, 2014.10.

http://www.jusonbo.co.jp/kikan_shosai/01/kikan_shosai_01_49.html

■付録1. 参考文献

●図書館利用教育ガイドライン

- 1) 日本図書館協会利用教育委員会編『図書館利用支援ガイドライン—図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p:¥1500
- 2) 日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3.
- 3) 日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践—すべての図書館で利用教育を—』(JLA図書館実践シリーズ; 14)日本図書館協会, 2010.3
- 4) 日本図書館協会図書館利用教育委員会『問いをつくるスパイラル—考えることから探究学習をはじめよう!』日本図書館協会, 2011.9.

●ガイドライン関連文献

- 1) 天野 由貴「ML(Multi Literacy)に替わる次のMLとは何か?」『現代の図書館』51(1), 17-23, 2013-03
- 2) 池田祥子「利用教育サービスの夜明け」『とりつたま』16(2000), pp.40-45
- 3) 梅澤 貴典「マルチリテラシー時代における大学図書館と職員役割」『現代の図書館』51(1), 9-16, 2013-03
- 4) 高田 淳子「情報リテラシー育成を支援する公共図書館のサービス: 実践のヒントを中心に」『現代の図書館』51(1), 3-8, 2013-03
- 5) 茂出木 理子「学習支援としての情報リテラシー教育: これまでとこれから」『大学図書館研究』(100), 53-64, 2014-03
- 6) 仁上幸治「図書館利用教育における「指導サービス」概念の形成~日本版ガイドラインの作成過程を中心に~」『日本図書館情報学会春季研究集会発表要綱』(2011.5), pp.91-94.
- 7) 仁上幸治「図書館利用教育における「指導サービス」概念

- の射程~情報リテラシー教育という枠組みの可能性と限界~」『日本図書館情報学会秋季研究集会発表要綱』(2011.11), pp.53-56
- 8) 仁上幸治「〈指導サービス〉の時代がやってくる!—図書館は利用者の何を支援しているのか—」『利用教育委員会通信』37号(1997.8.30), pp.6-7.
 - 9) 仁上幸治「情報リテラシー教育と新しい図書館員像—『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで」『館灯』41, 2003.3, pp.39-52.
 - 10) 仁上幸治「大学図書館員のためのオリエンテーション技法—印象づけを重視した構成・演出の改善の試み—」『医学図書館』52(1), 2005.3 (特集情報リテラシー・サービス) pp.15-24.
 - 11) 仁上幸治「『図書館の達人』から『情報の達人』へ—利用者教育映像教材の進化15年の集大成—」『図書館雑誌』101(4), 2007.4, pp.238-239.

●オリエンテーション・講習会

- 1) 仁上幸治「大学図書館員のためのオリエンテーション技法: 印象づけを重視した構成・演出の改善の試み」『医学図書館』52(1), 2005.3, pp.15-24.
- 2) 仁上幸治「オリエンはエンタメだ!—素敵な印象を伝えるプレゼンテーションを—」『学図研ニュース』No.229, 2005.3.1 (特集オリエンテーション) pp.2-5.
- 3) 仁上幸治「文献調査法の専門分野別最先端情報の共有へ向けて—研究室知識伝承者を養成するインストラクター講習会の試み—」『ふみくら』77, 2008.12, pp.4-5. [全文]
- 4) 仁上幸治「情報検索指導における良い例題・悪い例題(初級編)—素材を集め、問題を作り、要点を説明する方法—」, 日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践—すべての図書館で利用教育を—』(JLA図書館実践シリーズ; 14)日本図書館協会, 2010.3,

pp.88-108.

●広報・PR

- 1)私立大学図書館協会東地区部会研究部図書館サービス研究分科会広報グループ『図書館広報を考えなおす』,1982.12.
- 2)高橋昇・仲谷由香理・仁上幸治「新図書館とサインシステム計画」『早稲田大学図書館紀要』no.27,1987.3,pp.58-90.
- 3)私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会『図書館広報実践ハンドブック-広報戦略の全面展開をめざして-』日本図書館協会発売,2002.9 303p, ¥2381
- 4)仁上幸治「ライブラリアンのための広報戦略マニュアル-専門性を訴求する5つのポイント-」『専門図書館』No.225 2007.9, pp.88-93.
- 4)仁上幸治「図書館広報はなぜ読みにくいのか(中級編)-レイアウト改善の5つのポイント-」『館灯』47,2009.3.31, pp.124-129.
- 6)仁上幸治「図書館を見違えるほど魅力的に!-少人数職場ならではの即効変身術-」『短期大学図書館研究』No.29 (2009), pp.49-53.
- 7)仁上幸治「何を誰にどう訴えればよいのか」『専門図書館』2009(5), (239), 2010.1, p.2-7.(特集図書館アピール)
- 8)仁上幸治「これからの「PR」の話をしよう-いまを生き延びるための図書館経営学-」『病院図書館』30(3), 2011.5, pp.124-132. (特集「図書館のPR」)
- 9)仁上幸治著『図書館員のためのPR実践講座-味方づくり戦略入門-』樹村房(★2014年10月30日刊行)

●指導法

- 1)岡本浩一『上達の法則-効率のよい努力を科学する』PHP研究所,2002.5(PHP新書)¥714
- 2)多和田悟『犬と話をつけるには-駄目な犬の困った飼い主にならないために』文藝春秋,2006.6,(文春新書)
- 3)中野民夫『ワークショップ-新しい学びと創造の場-』岩波書店,2003.04(岩波新書)
- 4)畑村洋太郎『失敗学』事件簿-あの失敗から何を学ぶか』小学館,2006.4, ¥1300
- 5)吉田新一郎『効果10倍の<教える>技術: 授業から企業研修まで』PHP研究所,2006(PHP新書)

●『情報の達人』の歴史

- 1)日本図書館協会利用者教育臨時委員会「人・時間・予算の壁を破る利用者教育の強力ツール新登場」『図書館雑誌』1992.11,pp.798-799.
- 2)日本図書館協会利用者教育臨時委員会「利用者教育ビデオシリーズへの熱い期待」『図書館雑誌』1993.8. 1993.8, pp.553-556.
- 3)仁上幸治「情報リテラシー教育と新しい図書館員像-『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで」『館灯』41, 2003.3,pp.39-52.
- 4)仁上幸治「『図書館の達人』から『情報の達人』へ-利用者教育映像教材の進化15年の集大成」『図書館雑誌』101(4), 2007.4, pp.238-239.
- 5)『情報の達人』

<https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-10-4523215035712>
ホームページ:<https://www.kinokuniya.co.jp/01f/tatsujin/>

●広告

- 1)『マナーポスター100: 世相10年』帝都高速度交通営団, 1983.7, 124p; 27cm
- 2)『マナーポスター200: 200+1の軌跡』東京: 帝都高速度交通営団, 1991.12
- 3)谷山雅計『広告コピーってこう書くん!読本』宣伝会議,2007.
- 4)宣伝会議コピーライター養成講座編『最新約コピーバイブル』宣伝会議, 2007.
- 5)デンツウデザインタンク編著 後藤徹 監修『新アートディレクター入門』電通, 2007.3
- 6)姫路市立美術館,凸版印刷株式会社印刷博物館編『大

正レトロ・昭和モダン広告ポスターの世界: 印刷技術と広告表現の精華』国書刊行会, 2007.7

- 7) 眞木準『胸からジャック。: 心にささる一行メッセージのつくりかた。』大和書房, 2007.7
- 8) オブスキュアインク『レイアウトデザインのルール: 目を引くページにはワケがある。』ワークスコーポレーション, 2008.2
- 9) 堀内敬一『売れる!チラシのデザインルール』グラフィック社, 2006.6
- CI、デザイン、ブランディング
- 1) フィリップ・コトラー/ケビン・レーン・ケラー『コトラー&ケラーのマーケティング・マネジメント基本編』第3版、ピアソン・エデュケーション、2008.
- 2) ケビン・レーン・ケラー(恩蔵直人・亀井昭宏訳). 戦略的ブランド・マネジメント. 第3版. 東急エージェンシー出版部. 2010.
- 3) 菅谷明子『未来をつくる図書館: ニューヨークからの報告』岩波書店, 2003(岩波新書 新赤版 837). 735円
- 4) 中西元男『コーポレート・アイデンティティ戦略-デザインが企業経営を変える』誠文堂新光社, 2010.4.
- 5) 仁上幸治「図書館の魅力は細部に宿る-ちょっとした工夫を超えるブランド戦略-」『ほすびたる らいぶらりあん』37(1), 2011.3, pp.8-14.
- 6) 李明喜 総特集 図書館のデザイン、公共のデザイン〈図書館のデザイン、公共のデザイン〉『ライブラリー・リソース・ガイド』第20号/2017年夏号 p.6.
<https://www.fujisan.co.jp/product/1281695255/b/1490955/>

- 7) 李明喜「〈図書館のデザイン、公共のデザイン〉第1回 図書館におけるデザインとは何か?」『マガジン航』2017年11月27日
<https://magazine-k.jp/2017/11/27/library-design-01/>
- 8) 平本久美子『やっちはいけないデザイン』翔泳社,2016.12, A5,232p,1,800円

●図書館グッズ

- 1) 図書館サービス・ツール研究会編著『ライブラリー・グッズの調査・研究と企画・開発』(平成21年東京都図書館協会研究助成報告書), 2010.2, 33p.
- 2) 仁上幸治「グッズが図書館を元気にする!-暗い状況でも楽しめる最強秘密兵器-」(特集 ライブラリー・グッズ) [聞き手: 鈴木正紀]『大学の図書館』426, 28(5), 2009.5, pp.70-75.
- 3) 仁上幸治; 中島玲子; 石川敬史「笑顔を生み出す‘魔法’の戦略ツール-図書館グッズの研究・開発・普及活動-」『薬学図書館』55(2), 2010.4, pp.94-101.

●広報・PR

- 1) 私立大学図書館協会東地区部会研究部図書館サービス研究分科会広報グループ『図書館広報を考えなおす』,1982.12.
- 2) 高橋昇・仲谷由香理・仁上幸治「新図書館とサインシステム計画」『早稲田大学図書館紀要』no.27,1987.3, pp.58-90. [全文]
- 3) 私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会『図書館広報実践ハンドブック-広報戦略の全面展開をめざして-』日本図書館協会発売,2002.9 303p, ¥2381
- 4) 仁上幸治「ライブラリアンのための広報戦略マニュアル-専門性を訴求する5つのポイント-」『専門図書館』No.225 2007.9, pp.88-93.
- 5) 仁上幸治「図書館広報はなぜ読みにくいのか(中級編)-レイアウト改善の5つのポイント-」『館灯』47,2009.3.31, pp.124-129.
- 6) 仁上幸治「図書館を見違えるほど魅力的に!-少人数職場ならではの即効変身術-」『短期大学図書館研究』No.29(2009), pp.49-53.
- 7) 仁上幸治「何を誰にどう訴えればよいのか」『専門図書

館』2009(5), (239), 2010.1, p.2-7.(特集図書館アピール)

8) 仁上幸治「これからの「PR」の話をしよう—いまを生き延びるための図書館経営学—」『病院図書館』30(3), 2011.5, pp.124-132. (特集「図書館のPR」)

9) 仁上幸治『図書館員のためのPR実践講座—味方づくり戦略入門—』樹村房, 2014.10.

10) 鎌倉幸子「総特集 これが図書館の広報だ!」『ライブラリー・リソース・ガイド(LRG)』第15号(2016.6.7)p.005

●サイン計画

1) ドロシー・ボレット,ピーター・C.ハスキル編;木原祐輔,大橋紀子訳『図書館のサイン計画:理論と実際』東京:木原正三堂,1981.9

2) 日本建築学会編『建築設計資料集成,10:技術』丸善,1983,p119-140.

3) 日本建築学会編『建築設計資料集成【人間】』2003 第4章 環境・行動「サインシステム」

4) 高橋昇・仲谷由香理・仁上幸治共著「新図書館とサインシステム計画—UIによるデザイン統合システムの開発をめざして—」『早稲田大学図書館紀要』no.27,1987.3,pp.58-90.

5) 植松貞夫「大学図書館の建築と設備」1997
https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/pub/tojo/archive/Choken/1997/choken1_8.html

6) 中川卓美編著『サインはもっと自由に—人と棚をつなげるツール—』日本図書館協会,2017.5.[1,600円]

●プレゼンテーション

1) 石居進『理系のためのPowerPoint「超」入門—プレゼンテーションからホームページ作成まで』(ブルーバックスCD-ROM), 講談社, 2003, ¥1,995

2) 諏訪邦夫『発表の技法—計画の立て方からパソコン利用法まで—』講談社, 1995(ブルーバックスB-1099), ¥760.

3) 中川佳子『「情報を見せる」技術』光文社新書, 2003.7 ¥850.

4) 藤沢晃治『「分かりやすい表現」の技術—意図を正しく伝えるための16のルール—』講談社, 1999.3(ブルーバックス, B-1245)

5) 藤沢晃治『「分かりやすい説明」の技術—最強のプレゼンテーション15のルール—』講談社, 2002.10(ブルーバックス, B-1387)

6) ボブ・ポイルン『プレゼンテーション成功の秘訣13』TBS

ブリタニカ, 1993. ¥1300.

7) 藤沢晃治『「わかりやすい表現」の技術』講談社, 1999. ¥800. (講談社ブルーバックス B-1245)

8) 藤沢晃治『図解「伝える」技術ルール10—話して伝える, 書いて伝える, 図表で伝える』講談社, 2006.10

◆最近の図書

1) 河田聡 著『論文・プレゼンの科学 :. 増補改訂版.アドスリー ; 丸善出版 (発売), 2016.2. 209p ; ISBN 978-4-904419-59-5 :

2) 飯田英明著『驚くほど相手に伝わる学会発表の技術』中山書店, 2015.4. 148p ; ISBN 978-4-521-74094-2 :

3) プレゼンテーション研究会 [執筆]. 『学生のためのプレゼンテーション・トレーニング』実教出版, 2015.9. 95p ; ISBN 978-4-407-33743-3 :

4) 松本茂, 河野哲也『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』改訂第2版.玉川大学出版部, 2015.3. 136p ; ISBN 978-4-472-40513-

5) ジェレミー・ドノバン 著 ; 中西真雄美 訳『TEDトーク世界最高のプレゼン術』新潮社, 2015.4. 317p ; ISBN 978-4-10-506492-1

●最新図書館事情

1) 岡本 真/森 旭彦『未来の図書館、はじめませんか?』青弓社, 2014.11

2) まちライブラリー・マイクロ・ライブラリー・サミット実行委員会 2014 編『マイクロ・ライブラリー—人とまちをつなぐ小さな図書館』学芸出版社, 2015.5

3) 岡本 真 著, ふじた まさえ『図書館100連発』青弓社, 2017.5. ★他多数

●図書館員研修

1) 仁上幸治「情報リテラシー教育と新しい図書館員像—『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで」『館灯』41, 2003.3, pp.39-52.
<http://ci.nii.ac.jp/naid/110007.351240>

2) 仁上幸治「デジタルリソースのフル活用へ向けて—講習会の刷新からオンデマンド教材の開発まで—」『館灯』47., 2008.3. pp.30-47.
<http://ci.nii.ac.jp/naid/110007.7.21747>

3) 仁上幸治「なぜ研修の成果が出ないのか—現場で活かすための7つの秘訣—」『館灯』47, 2009.3, pp.47.-54.
<http://ci.nii.ac.jp/naid/1100071177.25>

■付録2. 関連参考サイト

●広告

・京都広告塾 編『巧告。: 企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京:インプレスジャパン, 2007.8 <http://www.impressjapan.jp/books/2442.php>

・京都広告塾 編『効告。: 企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京:インプレスジャパン, 2007.11 <http://www.impressjapan.jp/books/2483.php>

・京都広告塾 編『考告。: 企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京:インプレスジャパン, 2007.10 <http://www.impressjapan.jp/books/2459.php>

●広告アーカイブ

・新聞広告データアーカイブ:
<http://www.dressnet.or.jp/adarc/data/>

・動画NOW!! CM 企業一瞥:
<http://www.doga-now.com/companv/>

・宣伝会議:<http://www.sendenkaigi.com/>

・PRIR:
<http://www.sendenkaigi.com/hanbai/magazine/prir/>

・百式 POP*POP 広告・マーケティング カテゴリー:
<http://www.popxpop.com/archives/cat19/>

●デザイン

・服部デザイン研究所:「THE Know-How」レイアウト能力:
http://wwwweb.in/hdi/data/nc/dtl_lvt.html

・増田デザイン事務所 Masuda Design Office:
<http://www.rvuumu.co.jp/~mdo/index.html>

・グラフィックデザイン:

<http://www.rvuumu.co.jp/~mdo/graphic5.html>

・MdN: <http://www.mdn.co.jp/content/view/6/18>
または
<http://www.mdn.co.jp/content/category/38/27/55>

・グラフィックデザイン:
<http://www.mdn.co.jp/content/blank/89/130/>

●編集

・松岡正剛事務所 セイゴオちゃんねる:
<http://www.isis.ne.jp/seigowchannel/>

・編集工学研究所: <http://www.eel.co.jp/>

・インス編集学校: <http://es.isis.ne.jp/>

・松丸本舗: <http://www.matsumaru-hompo.jp/>

・松岡正剛の千夜千冊: <http://1000ya.isis.ne.jp/>

●CIとブランディング

・パオス: <http://www.naos.net/>

・佐藤可士和: <http://kashiwasato.com/>

●編集・広告の学校

・編集の学校/文章の学校: <http://www.editorschool.jp/>

・～編集の現場から～ 文章上達のための練習問題:
<http://www.raichosha.co.jp/mm/sentence.html>

・宣伝会議: <http://www.sendenkaigi.com/>

・宣伝会議の教育講座:
<http://www.sendenkaigi.com/kyoiku/>

●サイン計画(商品カタログ)

1) キハラ

<https://www.kihara-lib.co.jp/>
 サイン
<https://www.kihara-lib.co.jp/php/list.php?div1=10&divm=0>
 サインテンプレート ダウンロードコーナー
<https://www.kihara-lib.co.jp/download/download.htm>
 2) 日本ファイリング: サインシステム
http://www.nipponfiling.co.jp/products/lineup_2/signature/index.html
 3) 【彩ふく】図書館用品専門店
<http://www.saifuku.com/>
<http://www.saifuku.com/shop/v-murvo.html>
<http://www.saifuku.com/shop/v-catalog.html>
 4) 伊藤伊新社. 図書館用品総合カタログ(インターネット版)
<http://www.itin.jp/estimate/>
 サイン: <http://www.itin.jp/estimate/index3.html>
 5) 金剛
<http://www.kongo-corp.co.jp/08senmon/library.html>
 6) 株式会社オプト
http://www.t-v.jp/opto_shop/index.html
 図書館サイン 図書館サインシステム 施設案内 資料案内
 マグネットシート 館内サイン 館内 ...
http://www.t-v.jp/opto_shon/item.cgi
 7) 株式会社スパジオ・シブタケ
<http://www.shibutake.com/sign/tosyokan.html>
 8) 株式会社 アートプロデュース
<http://www.art-produce.co.jp/index.html>
<http://www.art-produce.co.jp/shop/index.php>
 9) ブッカー
<http://www.booker.co.jp/rightpage.htm>
 ACTUAL RESULT: <http://www.booker.co.jp/aa.htm>
 ●仮想図書館(VR)実演

ハコヤ (山下浩司社長)
 ハコヤホームページ <http://www.hacoya.info>
 図書館総合展 2017 フォーラム
<https://www.libraryfair.jp/booth/2017/5779>
 配付資料
http://www.hacoya.info/library/20171108_nikami_hacoya.pdf
 参加者アンケート結果
http://www.hacoya.info/library/20171107_questionnaire.pdf
 ●ビジュアルデザイン
 ユニバーサルデザインのガイドブック: 新宿区
http://www.citv.shiniuku.lg.jp/kusei/toshikei01_002098.html
 新宿区ユニバーサルデザイン推進会議の公募委員の募集
 について
http://www.citv.shiniuku.lg.jp/shingi/toshikei01_002092.html
 新宿区ユニバーサルデザイン推進会議公募委員の募集に
 ついて
<http://www.citv.shiniuku.lg.jp/content/000210015.pdf>
 カラーユニバーサルデザイン推奨配色セットガイドブック
<http://iflv.iam.u-tokyo.ac.jp/colorset/>
 カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット ガイドブック
 第2版
 カラーユニバーサルデザイン推奨配色セットの塗料用、印
 刷用、画面用の詳しい情報と、組み合わせる色の注意点、
 使用する上でのノウハウなどをまとめた冊子の第2版を作成
 しました。(PDF ファイル、10 MB)
http://iflv.iam.u-tokyo.ac.jp/colorset/CUD_color_set_GuideBook_2018.pdf
 主要な内容を2ページにまとめた概要版はこちらです。本配
 色セットをUDガイドライン等で紹介される際は、このファイル
 を印刷にご利用下さい。(PDF ファイル、2.9 MB)
http://iflv.iam.u-tokyo.ac.jp/colorset/CUD_color_set_GuideBook_2018_for_print_cs4.pdf

■付録 3. 学校図書館関連参考資料・参考サイト

1) 情報・メディアを活用する学び方の指導体系表
<http://www.j-sla.or.jp/pdfs/material/taikeihyou.pdf>
 2) 現行学習指導要領における情報科(高等学校)について:
 普通教科「情報」創設の経緯
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/siryo/004/05081601/007.pdf
 3) 全国学校図書館協議会(JSLA): <http://www.j-sla.or.jp/>
 1) 投書: 「学校図書館から姿消す名作」(朝日新聞, 2010.4.30, 12面(声))
 2) 「学校図書館図書廃棄規準」(1993年1月15日 全国学校図書館協議会制定)
 1) 文部科学省「学校図書館の現状に関する調査結果について」:
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/link/index.htm
 1) 田村修「ボクの理想の図書館」(図書館をデザインする<特集>『みんなの図書館』(188), 1993.01, pp.2-11.
 2) 「神奈川県立川崎北高校 図書館改造Before & After」『T Times』[巻号不明], キハラ, 2006?, pp11-14.
 3) 田村修「いまどきの学校図書館事情: 学校図書館って、どんな「場」?」『MORGEN』, 2007.11, p11.
 1) 『学校図書館改造計画CD-ROM』学校図書館改造計画(田村組)、2008.8
 3) (有)学校図書館改造計画HP:
http://www.geocities.jp/library_remodeling/
 2) 成田康子『みんなでつくろう学校図書館』岩波書店, 2012.1 (岩波ジュニア新書; 703)
<http://book.asahi.com/reviews/column/2012031800015.html>
 1) 白石昌則『生協の白石さん』講談社、2005.[2F 基本 総記 049/Sh-82]
 1) 志村尚夫『学校図書館メディアの構成とその組織化』青弓社 2004 ¥1,890(税込) (学校図書館図解・演習シリーズ)
 2) 『日本十進分類法』(NDC) [テキスト] 今まどり編著『図書館学基礎資料』第10版, 樹村房, 2012.2, p.110
 1) ビデオ『情報の達人』第3巻「レポート・論文を書こう! : 誰にでも書ける10のステップ」紀伊國屋書店, 2007.

1) 「学校図書3000冊転売容疑 新潟の元司書」朝日新聞, 2013年5月31日(金)39面.
 2) 「学校図書館ハンドブック」作成委員会『学校図書館ハンドブック』大分県立図書館, 2011.1:
<http://library.pref.oita.jp/kento/information/paper-publication/handbook/>
 3) 月刊「本を選ぶ」: <http://las2005.com/las/>
 4) 米図書館協会が選ぶ10代向けマンガ10に乙嫁&放浪息子: <http://natalie.mu/comic/news/63387>
 5) 安井一徳『図書館は本をどう選ぶか』勁草書房, 2006.
 1) 矢野直明『情報編集の技術』(岩波アクティブ新書) 岩波書店 2002.5 ¥700

●映像教材

1) 『司書教諭の仕事: 授業が変わる学校が変わる』全国学校図書館協議会企画・製作、紀伊國屋書店 (発行), 2000: VHS (29分)
<https://pro.kinokuniya.co.jp/ft07001Action.do>
 1) 『司書教諭の役割: 新しい教育の創造へ向けて』全国学校図書館協議会企画・製作、紀伊國屋書店 (発行), 1997.: VHS(28分) [八王子2F メディア:M/VT-OTN/S12]
 1) 『司書教諭の仕事: 授業が変わる学校が変わる』全国学校図書館協議会企画・製作、紀伊國屋書店 (発行), 2000: VHS (29分)
<https://pro.kinokuniya.co.jp/ft07001Action.do>
 2) あしたをつかめ平成若者仕事図鑑no.151学校司書 NHK教育テレビ「あしたをつかめ: 平成若者仕事図鑑」 2008.2.9(土) 22:00-22:25
<http://www.nhk.or.jp/shigoto/zukan/151/top.html>
 1) 早稲田大学高等学院図書室オリエンテーションビデオ 1990
 ・『はじまりはいつも図書館』: 第2巻「本の探し方-分類と目録の基礎-」紀伊國屋書店 1996(スクール・ライブラリー・ビデオ・シリーズ) (VHS:20分) [AV: VT-OTN-H20-2]

1)『へー！ 図書館って…～図書館のしくみと役割』紀伊國屋書店, 2010.3(スクール・ライブラリーシリーズ 学校図書館の達人:1)DVD[21分] 15,750円[AV:VT-OTN-H20-1]
★分類番号の項のみ上映。
2)全国学校図書館協議会[ほか]監修『新・いい本みつけた』:3「表現しよう、伝えよう-情報をまとめる・発表する-」紀伊國屋書店 2004(スクール・ライブラリー・ビデオ・シリーズ)(VHS:20分)[八王子2F メディア:M/VT-OTN/S28/3]

●学校図書館参考サイト

1)早稲田大学高等学院
<http://www.waseda.jp/gakuin/koukou/>
松田ユリ子 MATSUDA Yuriko:<http://panflute.p.u-tokyo.ac.jp/~matuyuri/>
松ユリ通信:<http://blog.livedoor.jp/kmnpas/>
かながわメディアリテラシー研究所(kmnpas):
<http://blog.kmnpas.com/>
LibraryNAVI:<http://librarynavi.seesaa.net/>

■帝京大学 MELIC 講座「レポート・論文作成「超」実用講座」(4回連続)

帝京大学メディアライブラリーセンター(MELIC) 2階 情報学習室
★配布資料、スライド、アンケート結果など資料一式公開中!

■付録 4. 講師紹介

仁上幸治 (にかみ・こうじ): 図書館サービス計画研究所 代表/元・帝京大学総合教育センター准教授/元・早稲田大学図書館司書/非常勤講師歴(法政大学・亜細亜大学・東京家政大学・桜美林大学、和光大学・玉川大学、2018 から日本女子大学、専修大学)

◎電子メール: nikamikoji@yahoo.co.jp

◎ホームページ: <http://sites.google.com/site/nikamik23/>

◎図書館サービス計画研究所(略称トサケン): <https://sites.google.com/site/tosaken23/>

◎教材開発・ライブラリービデオシリーズ『情報の達人』全3巻(DVD), 紀伊國屋書店, 2007.2.

<https://www.kinokuniya.co.jp/01f/tatsujin/>

◎著書

・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ガイドライン-図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p: ¥1500

・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会『図書館広報実践ハンドブック-広報戦略の全面展開をめざして-』日本図書館協会発売, 2002.9 303p, ¥2381

・戸田光昭[他]共著『改訂 専門資料論』樹村房, 2002.10(新図書館学シリーズ第8巻), ¥1900

・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3

・三浦逸雄, 野末比古(共編著)『専門資料論』新訂版, 日本図書館協会, 2010.3(菅野育子, 高橋昇, 仁上幸治共著)(JLA図書館情報学テキストシリーズ, II-8)

・大学導入教育研究会編『よくわかるライブデザイン入門-大学生のための必須学習術-』第二版, 古今書院, 2011.2.10. 120p. ¥1900.

・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践-すべての図書館で利用教育を-』(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3

・仁上幸治『図書館員のための PR 実践講座-一味方づくり戦略入門-』樹村房(2014年10月30日刊行)★初単著

◎最近の論文 *多くは著者ホームページで全文公開

1) 仁上幸治「学術情報の生産・流通・利用・保存をどう教えるか-司書課程選択科目「専門資料論」に見る学生の学問の“常識”-」『現代人間学部紀要』第11号(2018年、近日刊行予定)(分量超過のため今回は掲載見送り)

★ビデオ記録のウェブ公開開始!(学内限定)[2012年12月]

★『情報の達人』DVD版の学内オンデマンド配信、2013年度開始予定!

◎過去3年度分全資料アーカイブ

<https://apps.main.teikyo-u.ac.jp/tosho/lecture/report-koza.html>

◎2012年度 [案内・報告]

・2012.07.12-第1回「即効入門編:ただの感想文じゃダメだったのか!?!の巻」

・2012.10.25-第2回「執筆準備編:いきなり書き始めちゃダメだったのか!?!の巻」

・2012.11.29-第3回「読解・下ごしらえ編:イイとこ取りの丸写しじゃダメだったのか!?!の巻」

・2012.12.06-第4回「執筆・仕上げ編:イッキ書き速攻提出じゃダメだったのか!?!の巻」

★参考文献の標準書式見本(例)

1)藤田節子『レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方』日外アソシエーツ, 2009.4.

2)日本図書館情報学会誌 投稿・執筆の案内

http://www.jslis.jp/publications_2.html

・『日本図書館情報学会』投稿規程(2010年3月1日改訂)

http://www.jslis.jp/journal/c_reg_100301.pdf

・『日本図書館情報学会』執筆要綱(2010年6月1日改訂)

http://www.jslis.jp/journal/w_out_100601.pdf

https://drive.google.com/drive/u/0/folders/1C7RGVmb_I85WnRUQ-QmiAuitckdoy7F5

2) 仁上幸治「専門資格は情報リテラシーの質を保証できるか-司書課程科目「情報サービス論」受講生の読み書き話す能力に見る大学基礎教養教育の課題-」『和光大学表現学部紀要』17(2016), 2017.3, pp.63-84.

3) 仁上幸治「通信教育における図書館司書課程カリキュラムの問題点と改善案-情報サービス演習科目受講生の声にもとづく授業改善に向けて-」『論叢: 玉川大学教育学部紀要』2015, 2016.3, pp.171-194. [リポジトリ書誌データ][全文ダウンロード] (2016.3.31 刊行、6.29 リポジトリ公開)

◎最近の講演

2018年

08) 2018.03.17(土)★トサケンセミナー(新宿)・図書館パートナーズ「イベント実践講座」16:00~18:30(会場 15:40~18:40)新宿コズミックススポーツセンター 小会議室(東京都新宿区)[案内]

09) 2018.03.20(火)-INA 新建築研究所勉強会「魅力ある図書館づくりについて」講演「図書館のサイン計画はなぜ混乱に向かうのか-設計コンセプト棄損の原因と対策を再検討するために-」INA 新建築研究所会議室(地階)(東京都文京区)

10) 2018.04.08(日)★トサケンセミナー(新宿)サイン計画勉強会(5)「現場とデザイナーをつなぐ-開館後のサイン雑然化の傾向と対策-」12:40~15:10(会場 12:20~15:20)新宿コズミックススポーツセンター 小会議室(東京都新宿区)[案内] [参加者アンケート結果] (4.14UP)

11) 2018.04.22(日)★トサケンセミナー(新宿)「忙しいを言い訳にし

- ながら実はパソコンを使い倒していない図書館員のための超速成便利技講座～めんどくさいと思った時が省力化のチャンス～」16:00～18:30(会場 15:40～18:40) 新宿コズミックススポーツセンター小会議室(東京都新宿区)[案内][参加者アンケート結果](4.25UP)
- 12) 2018.04.27(金)-芝浦工業大学システム理工学部講義「創る」第1班テーマ「世界の大学図書館を創る」ゲスト講義「固定観念を捨てれば見える近未来～自分ゴトとして大学図書館の理想型をデザインする～」芝浦工業大学大宮キャンパスシステム棟 5241 教室(埼玉県さいたま市)
- 13) 2018.05.01(火)-徳島大学附属図書館・徳島市立図書館合同職員研修(講演とワークショップ)「図書館のサイン計画はなぜ失敗するのか～設計段階と開館後の傾向と対策～」(館内フィールドワーク+VR 体験会)徳島市立図書館(徳島県徳島市)
- 14) 2018.05.13(日)-★トサケンセミナー(新宿)「サイン計画勉強会(6)「サイン雑然化法則の傾向と対策(まとめ)」新宿コズミックススポーツセンター小会議室
<https://sites.google.com/site/tosaken23/shusai-semina/semina-20180513>
- 15) 2018.05.28(月)-★トサケンセミナー(新宿)「忙しいを言い訳にしながら実はパソコンを使い倒していない図書館員のための超速成便利技講座」(2)ウェブ検索編 新宿コズミックススポーツセンター小会議室
<https://sites.google.com/site/tosaken23/shusai-semina/semina-20180528>
- 16) 2018.06.09(土)-★トサケンセミナー(新宿)(2 コマ) パート1「サイン計画勉強会(7)「改善」は計画づくりから～現状分析・問題点整理・改善計画立案・提案・実施・評価～」新宿コズミックススポーツセンター小会議室
- 17) 同 パート2「忙しいを言い訳にしながら実はパソコンを使い倒していない図書館員のための超速成便利技講座」(3)パワポ編(1)「誰でも1時間で作れるようになる目から甲羅のパワポのツボ速成講座」
*** 2018.06.25(月)★トサケンセミナー(新宿)(2 コマ) * 中止
*** 2018.07.11(水)-えひめライブラリアンシップネットワーク(ELN)勉強会「映像の中のトンデモ図書館員たち Part 2(CM 編)」(愛媛県松山市) * 中止(豪雨災害)
*** 2018.07.12(木)-トサケンひろしま(未定)広島県広島市 * 中止(豪雨災害)
*** 2018.07.15(日)★トサケンセミナー(新宿) * 中止
*** 2018.07.28(土)-★トサケンセミナー(新宿)「忙しいを言い訳にしながら実はパソコンを使い倒していない図書館員のための超速成便利技講座」(4)パワポ編(2) * 中止(台風上陸)
- 18) 2018.08.18(土)トサケンセミナー(新宿)「忙しいを言い訳にしながら実はパソコンを使い倒していない図書館員のための超速成便利技講座」(4)プレゼンテーション編(1) 12:50～18:50(会場 12:30～19:00) (2 コマ 6.5 時間)★新宿スポーツセンター小会議室
- 19) 同 トサケンセミナー(新宿)「10 年後の未来図書館を見る～アメリカ図書館視察報告スライドショー～」(1)ニューオーリンズ編(大学図書館・公共図書館編)新宿スポーツセンター小会議室
- 20) 2018.08.27(月)トサケンセミナー(新宿)「忙しいを言い訳にしながら実はパソコンを使い倒していない図書館員のための超速成便利技講座」(5)Excel(1)・プレゼンテーション編(2) 新宿コズミックススポーツセンター小会議室
- 21) 同「10 年後の未来図書館を見る～アメリカ図書館視察報告スライドショー～」(2)ヒューズ編(大学図書館・公共図書館編)
- 22) 2018.08.28(火)ALA・米国図書館研修報告会「10 年後の未来図書館は見えたか?～アメリカ図書館視察報告のまとめ～」丸善雄松堂株式会社(浜松町ビル)9 階会議室 内田樽庵(東京都港区)
- 23) 2018.09.08(土)トサケンセミナー(新宿)+図書館パートナーズ合同企画「イマドキの図書館チラシ事情～善意の工夫が基本を踏み外すとき～」新宿コズミックススポーツセンター小会議室
- 24) 2018.09.14(金)-図書館スタッフ(株)リーダー研修「図書館 PR 実践講座～内部専門用語を外に開く～」日比谷図書文化館
- ★2018.09.30(日)-★トサケンセミナー(新宿) 13:00～18:30 (12:20～18:40 2 コマ 6 時間 20 分) 新宿コズミックススポーツセンター小会議室
- 25) トサケンセミナー:ツカミの研究講座(#1)「このツカミで学ぶ気になれるか?～予想外の導入部で学習意欲を引き出すための10か条～」*今年#25 が 300 本目
<https://sites.google.com/site/tosaken23/shusai-semina/semina-20180930>
- 26) 2018.10.11(木)-トサケンセミナー(長野)「映像の中のトンデモ図書館員たち アラカルト」トリノコ(長野県長野市)
- 27) 2018.10.12(金)-長野県立高校学校司書研修会「高校司書のためのPR実践講座(2)～自分ブランディングに向けたプレゼン演出の改善～」長野県県庁講堂(長野県長野市)
- 28) 2018.10.19(金)-未来フェス+(プラス)in 札幌(未来図書館創造会議)「10 年後の図書館はこうなる!」基調講演「10 年後の図書館像から検証する図書館業務の今～進んでいる米国、遅れている日本は本当か～」/大喜利シンポジウム、デジタルメディア研究所+図書館サービス計画研究所共催、札幌市中央区民センター視聴覚室(北海道札幌市)
- 29) 2018.10.20(土)-トサケンセミナーin 札幌「10 年後の図書館像を見すえつつ、目の前の仕事をテキパキ片付ける」ワークショップ「図書館員のための超速成PC便利技講座アラカルト」北海道武蔵女子短期大学 情報処理実習室(334)(北海道札幌市)
<https://sites.google.com/site/tosaken23/shusai-semina/semina-20181020>
- 30) 同 講演「10 年後の未来図書館を見る～アメリカ図書館視察報告スライドショー～」
★札幌市図書・情報館見学 交流会:おたる 魚一心 札幌店 *10.21(日)(オプションツアー)札幌近郊図書館見学ツアー ★ 中止
- 31) 2018.10.22(月)-木村修一先生授業「図書館情報資源概論」公開ゲスト講義「映像の中のトンデモ 図書館員たち(アラカルト)」北海道武蔵女子短期大学 3 号館 333 教室(北海道札幌市) 16:20～17:50(90 分)
- 32) 2018.10.23(火)-ヴィアックス職員研修(1)「図書館員のための PR 実践講座」※連続講座(全 2 回)ヴィアックス研修センター(鳩山ビル 6 階)(東京都文京区)[第 2 回は 11.26(月)]
★2018.10.29(月)-★トサケンセミナー(新宿) 13:00～18:30 (12:20～18:40 2 コマ 6 時間 20 分) 新宿コズミックセンター小会議室
- 33) 映像の中のトンデモ図書館員たち(アラカルト)
- 34) 「忙しいを言い訳にしながら実はパソコンを使い倒していない図書館員のための超速成便利技講座」(6)パワポ編(3)アニメーションの極意「目から甲羅のプレゼンテーション上達のコツ」
2018.11.01(木)図書館総合展トサケンセミナー パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)[案内]
- 35) トサケンセミナー(A) 11:00～12:30(90 分) メーカーズ・ラボ (30 席)10 年後の未来図書館は見えたか?～アメリカ図書館視察報告スライドショー～
- 36) トサケンセミナー(B) 15:15～16:30(75 分) メーカーズ・ラボ (30 席)イマドキの図書館チラシ事情～善意の工夫が基本を踏み外すとき～
- 37) 2018.11.08(木)-相模原市立図書館スタッフ研修「小さな図書館

- が生き残るための知恵～発想の転換で味方を増やす～」相模原市立図書館大集会室(神奈川県相模原市)
- 38) 2018.11.22(木)-図書館流通センタースタッフ研修「これからの図書館員像」(仮題) ㈱図書館流通センター関西支社(大阪府吹田市) ★夜はトサケン大阪オフ会、翌日トサケン運営委員会 in 和歌山(予定)
- 39) 2018.11.26(月)-ヴィアックス職員研修「図書館員のための PR 実践講座」(2) ※連続講座(全2回)ヴィアックス研修センター(鳩山ビル 6 階)(東京都文京区)[第1回は 10.23(火)]

◎講演予定(一部未定)

- 40) 2018.11.27(火)-千葉県高等学校教育研究会学校図書館部会 学校司書ならびに学校図書館関係職員秋の研修会「学校図書館のPR実践講座～あらゆる機会をフル活用する」千葉県立千葉女子高等学校
- 41) 2018.12.15(土)15:40～18:40 新宿コズミックセンター小会議室 仁上講演通算 300 本記念セミナー 講演「未定」(他、お楽しみ

- 企画)+ 忘年会
- 42) 2018.12.17(月)-京都府立京都学・歴史館「これでいいのか図書館員」(仮題)京都学・歴史館

2019 年

- 1) 2019.01.25(金)-島根県立図書館「公共図書館職員向け専門研修」島根県立図書館(島根県松江市)
- 2) 2019.01.30(水)-岡山県立図書館 図書館職員等研修講座「パスファインダー作成(2)」岡山県立図書館
- 3) 2019.02.01(金)-国立大学図書館協会東北地区協会 WS「(未定)」東北大学附属図書館農学分館(宮城県仙台市)
- 4) 2019.02.05(火)-いわき市立いわき総合図書館館員研修「(未定)」いわき市立いわき総合図書館(福島県いわき市)
- ★仁上幸治ホームページにて全文・資料等公開中。
<https://sites.google.com/site/nikamik23/lectures>
(にかみ・こうじ/配付資料/2018.11.21 作成)■

別紙2 図書館利用教育の目標と方法 (全2ページ)

図書館利用教育の目標と方法一覧表(日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会,2003,p.7-8)
<https://www.jla.or.jp/portals/0/html/cue/gl-u.pdf>

III. 目標

領域1 印象づけ	領域2 サービス案内	領域3 情報探索法指導	領域4 情報整理法指導	領域5 情報表現法指導
<p>以下の事項を認識する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.図書館は生活・学習・研究上の基本的な資料・情報の収集・蓄積・提供機関 2.図書館は資料・情報の受信・発信・交流の拠点 3.図書館は種々のメディアを提供する機関 4.図書館は物理的な空間というより世界に開かれた情報の窓 5.図書館は気軽・便利・快適で自由な休息と交流の場 6.図書館は個人の知る権利を保障する社会的機関(知る権利) 7.図書館は生涯学習を支援する開かれたサービス機関(学お構利) 8.情報活用技能の重要性 9.図書館の種類と特徴 10.図書館とそのサービスポイントの所在地 	<p>以下の事項を理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.自館の特徴 2.施設・設備の配置(分館、サービスポイントの所在地) 3.検索ツールの配置と利用法 4.参考図書・ツールの存在と有用性 5.利用規定(開館時間等) 6.サービスの種類(貸出、複写、レファレンス、予約、リクエスト、情報検索、相互貸借、アウトリーチ、利用指導等) 7.対象別サービスの存在(障害者サービス、多文化サービス等) 8.図書館員による専門的サービスの存在(調査・研究支援) 9.図書館員による親切丁寧な案内・援助・協力を受けられること 10.利用マネー 11.行事の案内(講演会、展示会、上映会、ワークショップ等) 	<p>以下の事項を理解し習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.情報探索法の意義 2.情報の特性 3.情報の評価のポイント 4.資料の基本タイプと利用法(図書、雑誌、新聞、参考図書、AV資料、CD-ROM、オンライン・データベース等) 5.アクセスポイントと使い方(著者名、タイトル、キーワード、分類記号、件名標目、ディスタクリプタ等) 6.検索ツールの存在と利用法(書誌、索引、目録、OPAC、レファレンス・データベース等) 7.サーチエイドの存在と利用法(分類表、件名標目表、シソーラス、マニキュアル等) 8.情報探索の原理(AND/OR/NOTトランケーション等) 9.情報探索ストラテジーの立て方(一般的、専門的) 10.自館資料の組織法と利用法(分類、請求記号等) 11.レファレンス・サービスの利用法 12.他機関資料の調査法と利用法 13.ブラウジングの効用 	<p>以下の事項を理解し習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.情報内容の抽出と加工(要約、引用、言い換え、抄録、翻訳、解題等) 2.情報内容のメディア別の記録法(メモ・ノート法、カード記録法、クリッピング法、データベースのダウンロード、録音録画等) 3.情報内容のメディア別の整理法(ファイリング法、コンピュータによる加工法等) 4.資料の分類とインデックスの作成法(キーワード、見出し語の付与等) 5.書誌事項、アクセスポイントの記載法 6.発想法(ブレインストーミング、KJ法等) 7.分野別・専門別の整理法 8.情報整理法の意義 	<p>以下の事項を理解し習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.情報倫理(著作権、プライバシー、公正利用等) 2.レポート、論文、報告書、資料の作成法(構成、書式、引用規則等) 3.印刷資料の作成法(パンフレット、リーフレット、ミニコミ紙等) 4.AV資料の作成法(ビデオの撮影、編集法等) 5.コンピュータによる表現法(グラフィック、作曲、アニメーション等) 6.コンピュータ・ネットワークによる情報発信(電子メール、インターネット等) 7.プレゼンテーション技法(話し方、OHP、板書法、AV、マルチメディア、学会発表等) 8.分野別の専門的な表現法 9.情報表現法の意義

IV. 方法

領域1 印象づけ	領域2 サービス案内	領域3 情報探査法指導	領域4 情報整理法指導	領域5 情報表現法指導
<ol style="list-style-type: none"> 1.ポスター、ステッカー、ちらしなどによる図書館の存在のアピール 2.パンフレット、リーフレットの配布 3.大学のサイン計画(図書館までの誘導機能、図書館ゾーン、通路等) 4.大学広報誌、地域広報誌との連携 5.パブリシティ(マスコミ利用) 6.地域や他機関からの訪問・見学 7.学内・地域データベースへの公開 8.行事(展示会、講演会、コンサート等) 9.大学ガイダンス、オリエンテーションでの図書館紹介 10.授業の中で、教員による図書館の意義への言及 11.会議・会合での図書館への言及 12.コンピュータ・ネットワーク(インターネット等)での案内 	<ol style="list-style-type: none"> 1.図書館オリエンテーション 2.案内デスク 3.館内見学ツアー 4.館内サイン(定点、誘導) 5.動線計画、施設設備計画 6.学内図書館所在地一覧 7.配布物(パンフレット、リーフレット) 8.案内機器(AV機器、コンピュータ) 9.学内広報誌 10.学内データベース 11.コンピュータ・ネットワーク(インターネット等)での案内 	<ol style="list-style-type: none"> 1.レファレンスデスクでの指導(参考業務、調査法指導) 2.ワークショップ、講習会 3.ビデオ上映会 4.学科関連指導(授業、ゼミ) 5.学科統合指導 6.独立学科目 7.チュートリアル 8.ゼミ先輩による指導 9.情報探査法独習用ツール(ビデオ、CAI等) 10.ワークブック 11.テキストブック 12.パスファインダー 13.機器・資料の使い方リーフレット 14.機器・資料の使い方サイン 15.電子掲示板システム利用 16.コンピュータ・ネットワーク(インターネット等)利用 17.学内広報誌 18.マスメディア 	<ol style="list-style-type: none"> 1.レファレンスデスクでの指導(参考業務、調査法指導) 2.ワークショップ、講習会 3.ビデオ上映会 4.学科関連指導(授業、ゼミ) 5.学科統合指導 6.独立学科目 7.チュートリアル 8.ゼミ先輩による指導 9.情報整理法独習用ツール(ビデオ、CAI等) 10.ワークブック 11.テキストブック 12.パスファインダー 13.機器・資料の使い方リーフレット 14.機器・資料の使い方サイン 15.電子掲示板システム利用 16.コンピュータ・ネットワーク(インターネット等)利用 17.学内広報誌 18.マスメディア 19.情報整理・加工コーナー設置 20.展示会 	<ol style="list-style-type: none"> 1.レファレンスデスクでの指導(参考業務、調査法指導) 2.ワークショップ、講習会 3.ビデオ上映会 4.学科関連指導(授業、ゼミ) 5.学科統合指導 6.独立学科目 7.チュートリアル 8.ゼミ先輩による指導 9.情報表現法独習用ツール(ビデオ、CAI等) 10.ワークブック 11.テキストブック 12.パスファインダー 13.機器・資料の使い方リーフレット 14.機器・資料の使い方サイン 15.電子掲示板システム利用 16.コンピュータ・ネットワーク(インターネット等)利用 17.学内広報誌 18.マスメディア 19.情報生産・発信コーナー(ワープロ、パソコン、ビデオ、コピー機、印刷機等) 20.展示会、発表会
方 法				
評 価	<ol style="list-style-type: none"> 1.好感度 2.クイック・レファレンス件数 3.投書箱の件数 4.催事の参加者数 	<ol style="list-style-type: none"> 1.レファレンス件数 2.パスファインダー、参考ツールの利用数 3.情報探査法独習用ツール利用度 4.大学構成員の情報発信度 5.催事の参加者数 6.研究者と図書館員の共同研究数 7.学科目の設置率と学生満足度 	<ol style="list-style-type: none"> 1.情報整理加工コーナー利用度 2.情報整理法独習用ツールの利用度 3.大学構成員の情報発信度 4.催事の参加者数 5.研究者と図書館員の共同研究数 6.学科目の設置率と学生満足度 	<ol style="list-style-type: none"> 1.情報生産発信コーナー利用度 2.情報表現法独習用ツールの利用度 3.大学構成員の情報発信度 4.催事の参加者数 5.研究者と図書館員の共同研究数 6.学科目の設置率と学生満足度
指 標				
例				